

経済産業省統計功労、秋田県統計功労

7名1団体が統計功労者に

工業統計調査など経済産業省所管の統計調査での功績が認められた方に11月29日、岸部市長から感謝状が伝達されました。また同日、11月8日に秋田県庁で行われた「秋田県統計功労者表彰式」で知事から経済産業大臣表彰を伝達された方、県知事表彰などを受けられた皆さんが市長に受賞の報告を行いました。



11月29日に行われた感謝状伝達式・受賞報告

経済産業大臣表彰を秋田県知事から伝達されたのは構造統計調査48回の小林勲さん(阿仁銀山下新町・69歳)。県知事表彰を受けたのは小塚繁さん(旭町・72歳)、高関英男さん(阿仁幸屋渡字上添根・61歳)、三杉晃一さん(阿仁荒瀬字念仏沢出口・50歳)、また、第57回県統計グラフコンクール中学生の生徒の部で入選したのは鷹巣中学校3年の小笠原唯さん、藤島美和子さん、三沢里奈さんの作品。県知事表彰の3名は、国勢調査、商業、工業統計、農林業センサスなどの調査員を多年にわたり従事された功績が認められたものです。

経済産業大臣表彰
秋田県知事表彰

感謝状を伝達されたのは、構造統計調査28回の松尾恵子さん(綴子字古関・54歳)、同調査14回の佐藤キノ子さん(上杉字上屋布岱・57歳)、同じく14回の佐藤樹さん(阿仁銀山下新町・45歳)。伝達された3名は、工業統計調査や商業統計調査、商工業実態基本調査、特定サービス産業実態調査など経済産業省所管の統計調査の調査員を多年にわたり従事された功績が認められたもので、市長からこの日出席した2名に経済産業省経済政策局調査統計部長からの感謝状が手渡されました。

経済産業省経済政策局
調査統計部長感謝状

白木氏は、「この冬、インフルエンザは、最近の話題」と題し、インフルエンザ発症の歴史や風邪との違いなどについて説明、中でも症状に関して「集団でかかるのが特徴。突然熱が出てくる。熱が一度上がると、300ccの汗が出る。人は、通常の食事でも400〜500ccの水分を摂取していることから、具合が悪いからといってジュー

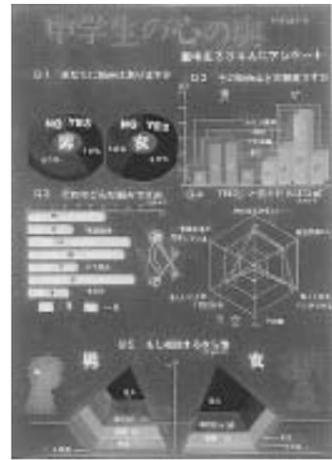
高齢者インフルエンザ予防接種
料金の一部を助成しています

インフルエンザは鼻水・くしゃみ・せきなどのかぜの諸症状だけでなく、高熱・頭痛・筋肉痛などもひき起こす全身の感染症です。高齢者が感染すると、肺炎等を併発して重症化したり、死亡することもあります。接種を希望される方は必要性を理解のうえかかりつけの医師とよく相談し、流行前に早めに接種されることをおすすめします。

インフルエンザ流行時の注意事項 (富山大・白木教授)

- ▼インフルエンザワクチンを受けとておく
- ▼インフルエンザかなと思ったら早めに診察と治療を受ける
- ▼熱が出たら水分を十分に取る(1回で300ccがめやす)
- ▼栄養と休養を十分に取る
- ▼人ごみを避ける
- ▼適度な温度、湿度を保つ
- ▼外出後の手洗い(指の間などまでいねいに)とうがいの励行
- ▼マスクを着用する

流行期前に予防対策を



第57回秋田県統計グラフコンクール中学生生徒の部入選作品「中学生の心の奥」

統計グラフコンクールは、広く県民に統計に親しんでもらうとともに、統計知識の普及と表現技術の研鑽を図ることを目的に毎年実施されているもので、地域や学校などの身近な話題から環境問題や政治などの社会的な話題まで様々な作品が応募されています。今回入選した作品のテーマは「中学生の心の奥」でした。なお昨年も「中学生の心み」をテーマに鷹中が入選しています。大臣表彰の小林さんは「初めて調査員業務を引き受けたのが昭和32か33年頃。以来毎年調査員をしている。初めはいろいろとまどいもあつたが、数を重ね調査の効率をあげた。特に難しいと思ったことはないが、近年の社会情勢のなかで、2年ほど調査票を提出してもらえなかった事業所があつたことが残念に思っている」と調査に関する感想と受賞の喜びを語ってくれました。



左から市長、藤島さん、小笠原さん、三沢さん、野村教頭先生



左から市長、高関さん、小塚さん、三杉さん



左から市長、小林さん、佐藤樹さん、佐藤キノ子さん

接種を希望される方は必要性を理解のうえかかりつけの医師とよく相談し、流行前に早めに接種されることをおすすめします。

■自己負担額 医療機関によって料金が異なるため、市が助成する1500円を差し引いた金額となります(生活保護を受けている方は無料です)。料金が3500円の場合、自己負担額は2000円です。

■申込方法 秋田県内のほとんどの医療機関で接種を受けられます。

■自己負担額 接種料金から助成額を差し引いた金額

■医療機関 北秋田市内の医療機関 実施医療機関窓口

◎お問い合わせ または保険課 ☎62-1118まで

接種回数 1回

■接種対象者 ①接種日において満65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓または呼吸器の障害等を身体障害者手帳1級程度の障害を有する方(事前に保健センターに申し込んでください)

■実施期間 10月15日〜平成19年1月31日

■助成金額 1人1500円(接種料金が1500円未満の場合はその実費額)

■自己負担額 接種料金から助成額を差し引いた金額

■医療機関 北秋田市内の医療機関 実施医療機関窓口

◎お問い合わせ または保険課 ☎62-1118まで

種を受けられます。実施医療機関に直接お申込ください。

■接種時に必要なもの 健康保険証、健康手帳

■国保によるインフルエンザ助成は1月31日まで

北秋田市国民健康保険では、平成18年度新規事業としてインフルエンザ予防接種助成を行っています。

■助成対象者 北秋田市国民健康保険加入者(擬制世帯主を除く)で、接種日において満64歳までの方(※上記北秋田市高齢者インフルエンザ予防接種対象者以外)。

■助成期間 10月15日〜平成19年1月31日。

■申請手続 接種時に医療機関に備え付けの申請書に必要事項を記入し、その医療機関に提出してください。(※保険証をお持ちください)

■助成額 1回1500円(接種料金が1500円未満の場合はその実費額)。

なお、医師の指示等により接種を2回に分けて行った場合は、それぞれにつき助成します。

■自己負担額 接種料金から助成額を差し引いた金額

■医療機関 北秋田市内の医療機関 実施医療機関窓口

◎お問い合わせ または保険課 ☎62-1118まで